

2022年9月30日
株式会社三菱UFJ銀行

グンゼ株式会社で「グリーンローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一、以下「当行」）は、グンゼ株式会社（代表取締役社長 佐口 敏康、以下「同社」）との間で、サーキュラーファクトリープロジェクト（守山工場）・グリーンビルディングへの設備投資を資金使途とした「グリーンローン」によるシンジケーション方式のタームローン契約（以下「本ローン」）を締結いたしました。

同社は、1896年（明治29年）京都府何鹿郡（現：綾部市）に設立され、2022年で創立126年を迎えました。現在、当社グループでは、「機能ソリューション事業」「アパレル事業」「ライフクリエイティブ事業」の3つの事業を有し、グループ経営ビジョンである「新しい価値を創造し、『ここちよさ』を提供することで持続可能な社会の実現に貢献する」ことの実現に注力しています。

同社は事業活動を通じて環境負荷を低減していく全社的な取り組みを強化しています。中期経営計画「VISION 2030」において「省・創・再エネ活動の強力推進」を掲げており、2030年までにCO₂の排出量をスコープ1+2で合計35%以上削減を目標としています。また2022年度中にScope3の削減シナリオの策定を予定しています。資源循環の取り組みとしては、各事業部門が協働したりサイクル推進や、再生素材のサステナブル調達推進等を実施します。

尚、同社のマテリアリティに関する取り組みに充当する資金をグリーンファイナンスにて調達することを目的として、グリーンファイナンス・フレームワークを策定しております。

本資金使途における設備資金は、同社のグリーンファイナンス・フレームワークに基づいて、十分な環境改善効果が見込まれ、且つ、環境面における潜在的にネガティブな影響への配慮がなされているプロジェクトとしての確認がなされたものです。同社のグリーンファイナンス・フレームワークは、株式会社日本格付研究所（JCR）より、グリーンボンド・ローン原則への準拠について第三者評価（最上位の「Green1（F）」）を取得しています。

また、本フレームワークにおける「サーキュラーファクトリープロジェクト」は、評価取得時点において、本邦初の資源循環型工場の取り組み全体での評価取得となります。

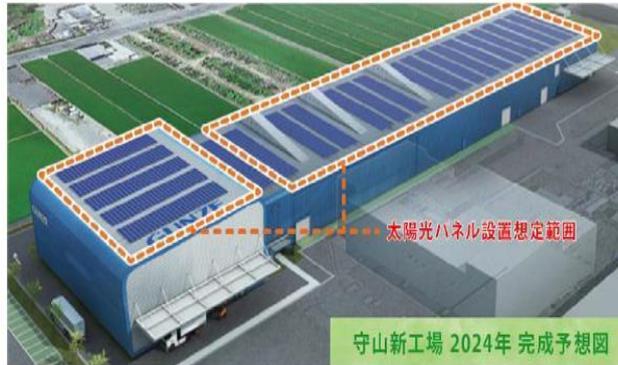
本ローンの概要

契約締結日	2022年9月30日
アレンジャー/エージェント	株式会社三菱UFJ銀行
組成金額	45億円
資金使途	環境関連投資
貸出人（五十音順）	株式会社大分銀行、株式会社滋賀銀行、全国信用協同組合連合会、株式会社筑波銀行、株式会社南都銀行

<プロジェクト詳細>

本ローンは、サーキュラーファクトリープロジェクト（守山工場）およびグリーンビルディングへの設備投資を資金使途としております。

サーキュラーファクトリープロジェクトにおいては CASBEE A 取得済みの建屋建設を計画しており、エネルギー効率が改善される新設ラインを設置します。グリーンビルディングにおいては、BELS5 つ星および ZEB 認証を取得した江南工場事務所を建設します。



守山サーキュラーファクトリー



ZEB オフィス

◆同社グリーンファイナンス・フレームワークについては以下をご参照ください。

<https://www.gunze.co.jp/sustainability/esgfinance>

◆JCR の評価については以下 JCR ホームページ内の掲載をご参照ください。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以上